

本局は積極的に路竹園區の發展を促進するため、路竹チームを特設し、2003年6月2日入居、企業誘致及び関連業務の推進を担当する。



圖 5-6-1 本局路竹チーム入居茶會

## 電信技術センター

情報通信産業は将来のスター産業であり、電信技術センターは電信産業の頭の役割である。交通部は2003年8月電信技術センターの申請を開始し、各縣市が激烈な競争を繰り広げた。路竹園區は最も有利な設置区位にあり、整った公共施設と便利な交通ネットワーク、豊かな学研機構と育成環境、都市計画と優れた生活機能の完備、優れた奨励措置等を兼ね備えており、17の大学短大、10件あまりの電信業者、工研院級金属工業センター等が連署支持し、候補者の中でも突出していた。

行政院游院長は2003年10月18日交通部林部長等関連部会首長を伴い、路竹園區を視察し、会の中で、交通部が計画中の電信技術センターを正式に路竹園區に設置することを宣言した。



圖 5-6-3 交通部林陵三部長、電信技術センターを路竹園區に設置することを宣言



圖 5-6-2 游院長率いる関連部会首長、路竹園區を視察

# 企業誘致及び投資

積極的に企業を路竹園區に誘致するため、2003年、国内中部、南部等数場企業誘致説明会及び研討会を開く他、米、日、ヨーロッパ、東南アジアに赴き海外地区企業誘致を行った。その他、積極的にニュースメディア（民視（FTV）、公視（PTS）、中天（CTI）、鳳信（Phoenix）等）により広く路竹園區の宣伝を行った。路竹園區電子報を隔月発行で製作発行したりして、本局は積極的に企業及び民衆に路竹園區開発現況を理解してもらえよう積極に取り組んでいる。

路竹園區では、2003年末まで合計15社の企業が入居しており、そのうち半導体1社（矽統（Silicon Integrated Systems）科技因管理階層建て直し、投資計画一時延期）、バイオテクノロジー会社4社、精密メーター9社、その他1社。そのうち萬潤科技（All Ring Tech）は2004年2月9日から量産を始め、路竹園區初の量産企業となった。その他、2003年10月6日奇美電子（Chi Mei Electronics）は來函、同社工場拡張の予定地として60ヘクタールの土地保留を申し出ている。

路竹園區に必要な人材及び企業を育成し、路竹園區産業研究開発技術水準を向上させるため、本局は2003年積極的に高雄县政府と結合し南部地区大学院校教育及び研究資源に協力、「路竹園區産学策進会」が成立した。産学策進会会員には中山、成大、高雄大学、高雄第一科大、高雄應科大、高師大、義大、高苑、正修、東方等数十所の大学が含まれ、義守大学傅勝利校長が理事長を担当、策進会相關業務を行っている。



圖 5-6-5 10月18日僑委會率海外ハイテック企業、路竹園區訪問



圖 5-6-4 9月23日南部地区企業誘致説明会



圖 5-6-6 萬潤科技 (All Ring Tech) (路竹園區初の量産企業)

# 工程開発

路竹園區の開発は、新竹科学園區及び台南園區發展の経験を十分に吸収して行われている。多くの企業が路竹園區に入居するよう、現在の作業重点は優れた投資環境を作ることで、2001年7月に着工、2003年末までにすでに汚水処理応急措置、一つ目の3000トン高架給水塔及び配水池工程等5項が完成し、第一期第一区、第一期第二区工業区開発工程等9項が施工中である。一期一区工程はまもなく完成、工業用地約50ヘクタールがいつでも企業工場建設に提供できる。二期二区土地は企業が同時に建設開始できる。標準工場は2004年6月に完成し、研究開発型或いは小規模企業の入居使用に提供できる。その他、第一期住宅区（单身、家族及び高級管理職用宿舍として提供）は、現在設計計画中である。各項公共工程がつぎつぎと完成し、路竹園區の基礎建設を更に具体化し、入居企業の工場設置に必要なニーズを提供し、世界的な景気回復に備え好万全の準備を整えている。



圖 5-6-8 路竹園區污水處理廠第一期工程



圖 5-6-9 路竹園區廢棄物一時保存場



圖 5-6-10 路竹園區臨時事務所



圖 5-6-11 路竹園區關稅臨時事務所



圖 5-6-12 路竹園區一期一区道路工程



圖 5-6-13 路竹園區第一期標準工場 (2004年6月完成予定)



圖 5-6-7 路竹園區第一高架給水塔



圖 5-6-14 路竹園區台電超高压變電所 (2004年6月完成予定)

# 近隣の親睦会

路竹園區では2003年親睦活動により、近隣3郷鎮及び高雄县政府合が共同で3つのイベントを行った。

## 路科月中秋活動

本局は2003年9月7日「路科月中秋」活動を行った。これは電信技術センター誘致をテーマにした活動で、近隣の路竹、岡山、永安等郷親を招いて約5000人がともに祝い、地方に電信センター設立を呼ぶことを支持した。

## 高雄县政府と万人植樹活動を行う

本局、高雄县政府及び農委会林業試験所が2003年12月25日、共同で万人植樹活動を行い、12,000株の樹苗を植樹し、近隣の路竹、岡山、永安、湖内、茄苳郷各国小中学校と大学が参加して、実際の植樹活動を通し、市民が樹木に親しみ、森林を愛し、緑化環境教育の促進を行った。その他、電信技術センターが路竹園區に設置されることが宣告され、路竹園區がりっぱに成長していることが証明された。

## 路竹トマト節活動実施補助

トマト、カリフラワー及び卵は路竹郷の三つの特産品で、この活動を通して路竹特有の文化及び特産を理解してもらうことが目的だ。路竹園區が地方発展に大いに貢献し、路竹人の第四の宝となればと願っている。



図 5-6-15 国会謝清志副主委、路竹園區月中秋活動に訪れる



図 5-6-16 路竹園區万人植樹活動



図 5-6-17 トマト節活動補助